

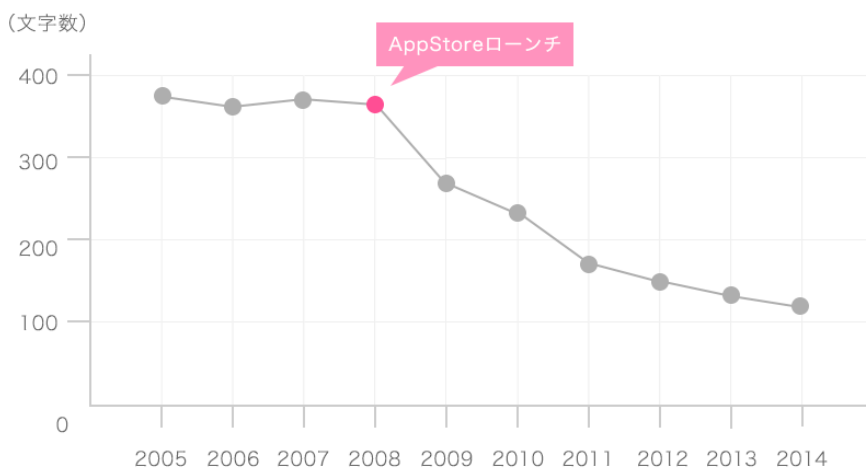
Diverse 技術研究所 002 入力インターフェイスが与える文字数の変化

メッセージを送る時に最適な文字数は…？

株式会社 Diverse（東京都渋谷区、代表取締役社長：津元 啓史）の「Diverse 技術研究所」は、PCからスマートフォンへ、入力インターフェイスが遷移したことでメッセージのやり取りにおける変化を自社のデータを解析し調査しました。

iPhone がメッセージに与えた影響

メッセージに含まれる文字数の変化（海外サービス）



©Diverse Institute of Technology

OkCupid が公開した "Average Number of Characters Per Message (メッセージ 1 通に含まれる文字数の平均)" を見ると 2008 年の AppStore がローンチするまでは、1 通に含まれる文字数は約 380 文字と横ばいが続いていました。しかし、2009 年から 2014 年まで立て続けに文字数が減少しています。

これは iPhone を含むスマートフォンの入力インターフェイスやディスプレイサイズが文字数減少の大きな要因になっていると考えられます。

■ 入力インターフェイスの違い

パーソナルコンピュータとスマートフォンの入力インターフェイスは主にキーボードとタッチパネルに分類できます。キーボードはすべての指を使う事が多いですが、タッチパネルでは使う指が限定されます。特に iPhone が出たばかりの時代は入力に慣れていない人も多かったため、キーボード入力

より文字数が打てなかったのではないかと予想できます。

■ディスプレイサイズの違い

一般的なコンピュータとスマートフォンの表示できる文字数(人間が文字として認識できるサイズ)は違ってきます。例えば、コンピュータで読むと多く感じない文章でも、スマートフォンではフリックを重ねる必要があるだけで長文に感じるかもしれません。

日本で起きているデバイス間でのコミュニケーション齟齬

tinder や Poiboy のようにアプリのみのサービスではなく、YYC, Youbride のようなコンピュータもスマートフォンでもアクセスできるサービスは多く存在します。

上述のようにコンピュータとスマートフォンでは入力する文字数や同じ文字数でも見え方が異なってきます。そこで我々は、“コンピュータ to スマートフォン”、“スマートフォン to コンピュータ”のメッセージのやり取りの文字数を調査し、コミュニケーション齟齬が発生しているかを調査しました。

今回の調査では、

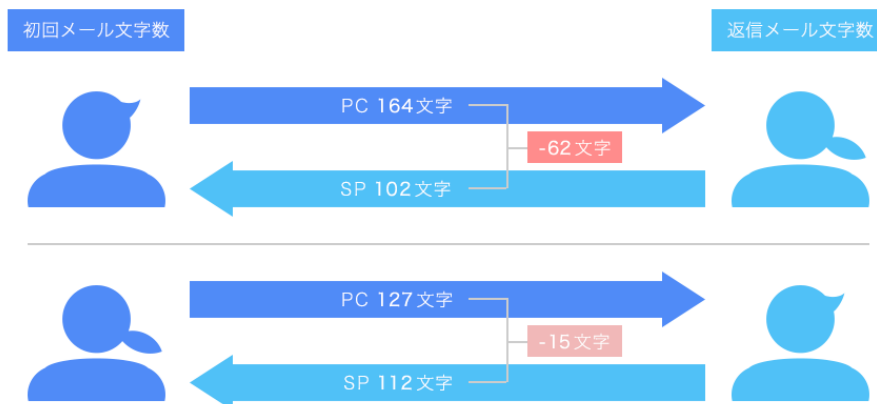
- 男性(コンピュータ)が女性(スマートフォン)に初めてメッセージを送信して、返事があった時
- 女性(コンピュータ)が男性(スマートフォン)に初めてメッセージを送信して、返事があった時

を各 5 万件、**合計 10 万件**のデータを対象にしました。

※今回の調査では文字数のみを調査しているため、メッセージの内容や個人が特有的できる情報は一切抽出しておりません。

下図は今回の調査の結果です。

男女別 入力インターフェイスが与えるメッセージの文字数の変化



Diverse

男性はコンピュータでは平均 **164 文字**を女性に向けて送信しており、返信をする女性スマートフォンを用いて **102 文字**で返信していました。

反対に女性がコンピュータでは平均 **127 文字**でメッセージを送信し、男性はスマートフォンで **112 文字**の文字数で返信しておりました。

女性がスマートフォンから返信する時はもらったメールに対して **62 文字減少**していました。一方、男性は女性に比べて返信時に文字数の減少が少ない（15 文字減）傾向が見られました。これは送ってくる女性の文字数が 127 文字だったため文字を近づけたのか、スマートフォンでの返信は 110 文字程度が打ちやすいのかは定かではありません。

しかし、返信をする際の文字数は性差は大きく見られなかったため、送信時も **120 文字程度**が好ましいかもしれません。

今後は、返信が返ってきている人の文字数や、スマートフォンからコンピュータに返信した時の文字数などの調査を行うことを検討していきます。

Diverse 技術研究所について

Diverse 技術研究所は、2016 年 2 月に設立された Dating Science (※1)に関する調査や研究を行う機関であり、実サービスから得られるデータを元に Data Mining, Matching Algorithm, Interaction System(※2)の 3 分野の研究を行っています。

※1 Dating Science … 恋愛における他社間のコミュニケーションに関わる学問のこと

※2 詳細は「研究領域について」を参照

研究領域について



Data Mining

Diverse サービスのデータを分析し、ユーザの行動パターンの可視化や文化の数値化を行います。日本人の恋愛に関する研究はまだ少なく発展途上です。これらの原因の 1 つに「恋人を探している人」、「恋愛をしている人」のデータを入手することが非常に困難であったことが挙げられます。

ユーザの行動を分析することで現在の問題点や改善点を発見し、日本人に適したマッチングサービスの開発に貢献します。



Matching Algorithm

新たなマッチングアルゴリズムの開発・実証を行います。出会う相手に求める傾向は時代により変化していきます。また、世代や地域によっても求められてくる相手の条件は変化するため一律的なアルゴリズムでは、多くのユーザに適した解を提供することが困難になっています。そこで、

Diverse

数学的だけではなく、社会的なアプローチも含めたアルゴリズムを開発し、実サービスで実証・改善を行います。



Interactive System

オフラインでのコミュニケーションの拡張を目的としたインタラクティブシステムを開発します。対面状態のコミュニケーションは、リアルタイム性や会話の組み立て方など多くのスキルが求められます。コミュニケーションが苦手なユーザーだけではなく、より心地よいコミュニケーションの形を提供できるハードウェアを開発し、街コンや婚活パーティなどの実サービスで検討を行います。

ます。

Diverse 技術研究所 サイト情報

Diverse 技術研究所 < research.diverse-inc.com >

Diverse 技術研究所ブログ < blog.research.diverse-inc.com >

お問い合わせ < research.diverse-inc.com/contact >

共同研究について、活動内容について、セミナーへのご相談などございましたら上記、[お問い合わせ](http://research.diverse-inc.com/contact)よりご連絡をお願いいたします。

以上

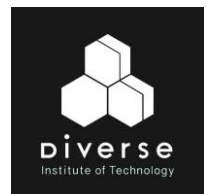
■株式会社 Diverse < diverse-inc.co.jp >

株式会社 Diverse はでは、結婚支援を中心に、友達・恋人探し支援、趣向に特化したコミュニティを応援する SNS サービス等、様々な出会いのプラットフォームを提供しています。

また人間の「恋・愛・人生」をより深く掘り下げる恋愛メディアを運営し多角的に事業展開することで深刻化する少子高齢化社会に本質的な目線で新しいサービスを提供できるよう日々、取り組んでいます。

■Diverse 技術研究所 < research.diverse-inc.com >

Dating Science は、恋愛における他社間のコミュニケーションに関わる学問のことを指します。いままでは社会学、認知科学などの領域に重なっていましたが、Diverse 技術研究所では、他の研究機関では実験・分析が難しかった実サービスから得られるデータを元に Dating Mining, Matching Algorithm, Interactive System の3分野の研究を行っています。研究を通して Dating を解明し、コミュニケーションの活性化を目指します。



■本件に関するお問い合わせ

株式会社 Diverse 経営企画室

【E-mail】 pr@diverse-inc.com

【住所】 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-3-5 NBF 渋谷イースト 6F

【WEB】 Diverse コーポレートサイト < diverse-inc.co.jp >

【BLOG】 Diverse 公式ブログ < diverse.blog.jp >
